
100人殺し

昇太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

100人殺し

【Nコード】

N5089Z

【作者名】

昇太

【あらすじ】

高校生が簡単に殺せてしまうスイッチを入手そして犯行に至るどうなるかは呼んでからのお楽しみ

僕は妙なスイッチを手にした君にやろうとイスラム系インド人が僕に近づいてきて渡してきた

家に帰り押してみた何も起こらないじゃないか？と思いつつ今日は床についた

次の日学校に行くとおれ？俊川は？と僕の嫌いな人の名前が連呼されてきた亡くなったそうだとそれを聞いた僕はもしかしたらこれは？と思いつつも一回スイッチを押してみたブックブック先生どうしたの？口から泡なんて吹いてうわバタン先生キヤーふっふこれはそうゆう物かよしよし（笑）
それから僕は繰り返し犯罪にはまっていた

え？今まで僕が殺してきた人達が見える

ウッーウッー

どうしたんだろ俺頭までいかれちゃったのか？（笑）

するとスイッチをくれたイスラム系インド人が現れた

それはどうゆう物か分かったか？もう気づいているかと思うんじやがそれは寿命を削って殺したい人を殺すと言う物なんじやよ

え？え？そうじやこの死んだはずの人が見える理由ももう分かるじやろ君はもう死んだ人間なんじやよ！

え？命を返せ返せ

うわー！ー！死ぬ死ぬ死ぬうー

もう死んでますよ（笑）ふっふ

終

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5089z/>

100人殺し

2011年12月17日06時49分発行